

ブレーマーハーフェン現地視察時に撮影した写真

岩本晃一 copyright



BISの正面の海洋都市らしい光景

更に続く海洋都市らしい光景



まず市内を南下



作業員の安全訓練センター



フラウンホーファー研究所





実証実験が行われている様子

実証実験サイト



出荷を待つ大きなナセルが積まれている様子



右側に Repower の工場、その向こうに AREVA の工場、左側に Power Blades の工場が見える。



AREAVA の工場の敷地内。 出荷を待つ製品が見える。



AREVAの工場内で出荷を待つナセル





AREVAの工場に隣接する土地。AREVAはここに工場を拡張するため、地盤沈下対策を実施している。



Power Bladesは、工場の前に自社製品を置いている。



黄色い部分が海水面に当たる。 海底に杭を3本打ち込んで固定する。



トライポッドは見上げるほど高い。



重いトライポッドを移動するための線路



線路を反対側から見る



目の前の川は、半分凍っていた。





右側に Weser Wind, 左側に AREVA の事務所が見える。



大戦中、激しい空爆で古い町並みが破壊され、その後、米軍が住んでいた。
その様子がいまでも市内に残る。

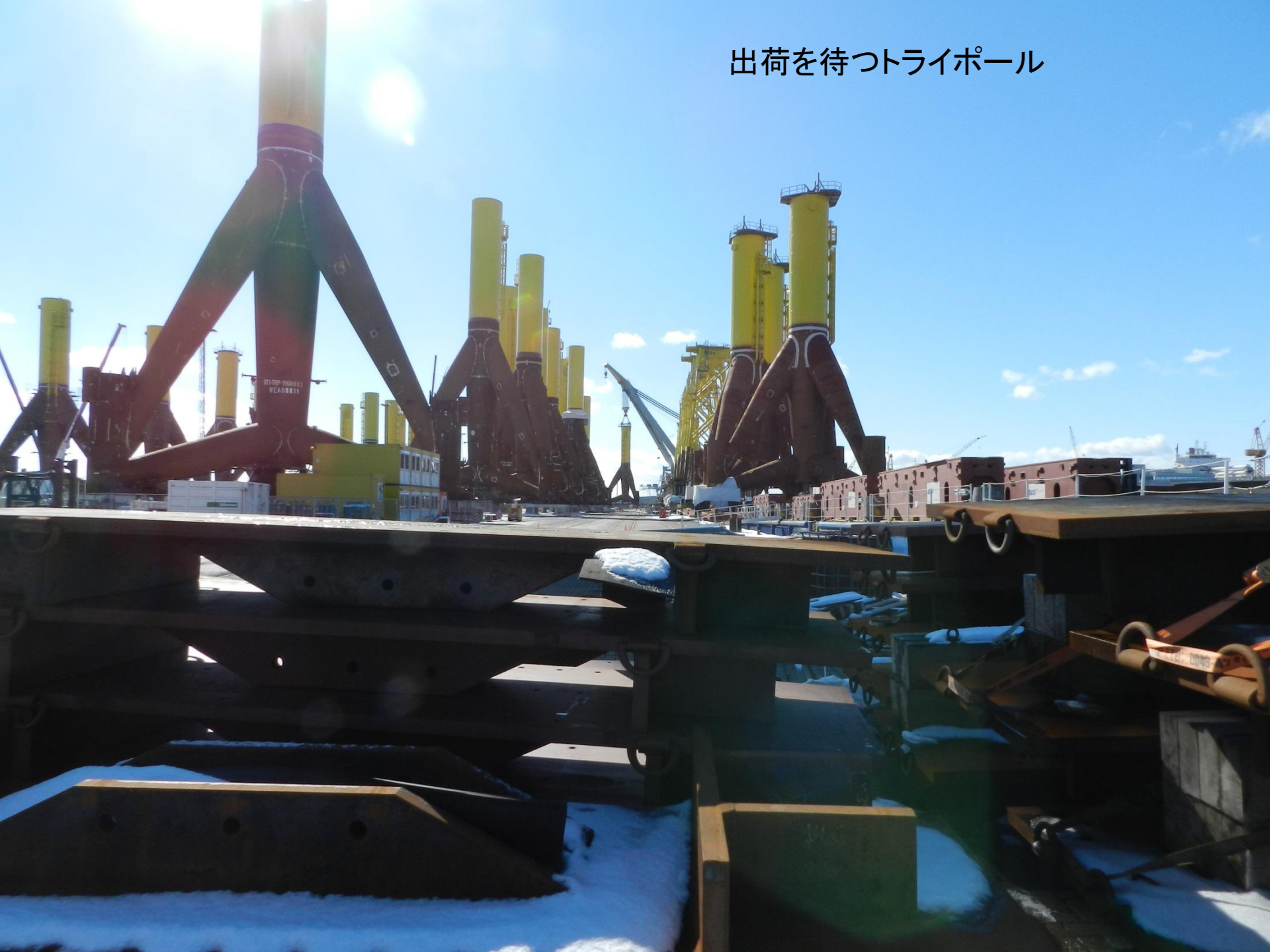
BISの建物が見える



市内を北上すると、北側の洋上風車の出荷港が見えてくる。



出荷を待つトライポール





出荷を待つブレードが積まれている様子。



積み上げられたコンテナを昇ると、市内を一望できる展望台になっている。

